

第6回 神保原駅北まちづくり協議会 会議録

日 時	令和5年2月27日 10:00~12:00
場 所	上里町役場 協議会室
出席者	協議会委員 学識経験者) 為国 孝敏氏、並木 孝之氏 地元地権者) 片倉 昭弘氏、鈴木 光雄氏 中嶋 勇郷氏 区長会) 上野 文一氏 行政機関) 木村 和正氏、高橋 武氏 公募者) 上山 弘志氏、田島 美由紀氏、森田 将伍氏
	事務局 まちづくり推進課) 吉田課長、飯島参事、伊藤係長、松本主査、福田主任
	コンサル 昭和(株) 都市調査室：上坂、中島

内 容

	<p><1. 開会></p> <p><2. あいさつ> 為国会長よりあいさつ</p> <p><3. 委員の出席状況の報告> 事務局より、18名の委員中11名の委員が出席し過半数を超えたため、神保原駅北まちづくり協議会設置要綱第6条第3項に基づき、会議が成立することの確認をした。</p> <p><4. 会議録署名委員の指名> 協議会設置要綱第8条第2項の規定に基づき、為国会長より「田島委員」、「森田委員」の2名を任命し、承諾をいただいた。</p> <p><5. 傍聴者等の入室> 神保原駅北まちづくり協議会の「会議の公開に関する要綱 第2条」に基づき、本会議は「公開」により行い、傍聴者1名と報道関係者1社の入室を許可した。</p> <p><6. 報告事項></p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ちいさな駅前を旅するマーケット開催報告について事務局から説明 (2) 神保原駅北まちづくり基本計画(案)に関するパブリックコメント並びに住民説明会開催報告について事務局から説明 (3) 今後のまちづくり協議会等の体制について事務局から説明
--	--

為国会長	皆さんからご質問、ご意見等をお願いしたいと思います。いかがでしょうか。逆に地権者の皆さん、それと上野さんが具体的な所（ローカルチーム）に踏み込んでお願いできるかという事になっています。よろしいでしょうか。何かございますか。
鈴木委員	ローカルチームの構成で、ここにいる地権者として位置付けがないですね。それは何か意図的に、ローカルチームを作るうえで地権者を入れない、地権者としてここに表示しないという様な内容、関係者等出てくる人はいるでしょうけども、やはり地権者としても参画していただくという事で表記しないという理由は何なんでしょうか。
事務局	ご質問ありがとうございます。今現在考えているのは駅前通り沿道の地権者様には、集まって頂こうかと思っております。沿道の地権者様は、今検討している3ルート案の、中心から振り分けたり、東側、西側に振り分けたとしても、沿道の地権者様は、こちらは全て該当すると思っておりますのでこちらの方に示しております。
為国会長	今、参加している皆さんは、沿道の地権者の方も含まれていますよね。
事務局	はい。今参加されている方は、元まち協委員さんとして入ってます。
為国会長	どっちにしても先ほど言ったことですよね。
鈴木委員	はい、失礼しました。分かりました。ちょっと私が読み込み不足だったという話で、沿道地権者という位置づけはわかりました。
為国会長	今参加している皆さんは、そのまま地権者としてしっかりとご意見を頂く様な形になってますので、よろしくお願ひします。他に何かないですか。埼玉県庁も、今度都市計画でしっかりと来られますので、楽しみといえば楽しみですけども、しっかりとやってくれということですね。あとまちなか再生というのはおもしろいですね。協議会自体は最後の方に皆さんからまとまった意見を議論する形になりますので、まずは地権者の皆さんや、上野さんらが入って頂いてる地元住民チームと、それと賑わいづくりをやっていくまちなか再生チームと、このところで積極的にというか、具体的に動かすような形を進めていただけるとありがたいですね。はいありがとうございます。それでは来年度からはこういう話で進んでいくと、パブコメもそうですし準備説明もそうですし、今までのこの協議会の中でもそうですけれども、今は前に進もうという事ですので、町役場の方も含めて、是非みんなでがんばってやっていければと思います。
事務局	補足ですが、よろしいですか。この2つのまちなか再生とローカルチームにつきましては、まちづくり協議会に紐づく下部組織ではございません。委員の方々につきましては、特にまちなか再生チームなのですが、こちらに加わることは可能ですので、特に公募の皆様につきましては、この機会にまちなか再生チームの方に参加されることもご検討願えたら大変うれしく思います。
為国会長	上山さん是非参加して、こちらで具体的にやって下さい。
鈴木委員	先程の説明の資料3-1の最後の方、スケジュールのところ、一応、令和5年度末でルートを固めたいという説明がありました。これはここでルートが提示されて、まちなか再生チームが提示されたルート案で話がまとまるかどうか、その議論の過程はちょっと難しいことがたくさんあるだろうと思うのですけれども、ルートが固まったとしますよね。例えば、固まった段階で今度は組織的に都市計画の方に移行していく、都市計画決定をして事業決定をしていくというスケジュールが見えてくるという風に理解してよろしいでしょうか。
事務局	はい。そういうことになります。
鈴木委員	ありがとうございます。
為国会長	都市計画決定して、どんどん進められるように積極的にお願ひします。ここのチームが一番肝になってくるので、是非よろしくお願ひできればと思います。よろしいですかね。はいありがとうございます。報告事項はこの辺にしたいと思います。 今日の議題は1つです。以前から皆さんに見ていただきました神保原駅北まちづくり基本計

	<p>画（案）がパブリックコメント、住民説明を含めて固まったという事で、今日説明を受けて皆さんからご意見いただいてから、この計画（案）を協議会としては承認という形に持っていきたいと思えます。その為の議論になりますのでよろしくお願い致します。それでは次のご説明お願いいたします。</p> <p><7. 議題></p> <p>（1）神保原駅北まちづくり基本計画（案）について事務局から説明</p>
為国会長	<p>ありがとうございました。パブリックコメントあるいは、住民説明会を通じてまちづくり基本計画（案）に対しては、わかるような言葉で、という意見が特に多いですね。都市計画系はカタカナが急に出てくるので、その説明をちゃんとして下さいということ、パブコメとか住民説明会、来年に向けたところのご意見をたくさん頂いたという事になろうかと思えます。皆さんからのご質問、ご意見等ございましたらお願いしたいと思えます。いかがでしょうか。</p>
上山委員	<p>基本計画の中で橋上駅舎の計画があると思うのですが、今、割と地方でも駅舎の建て替えというのは進んでいて、結構郊外に行っても立派な駅舎が出来ているのですが、今の神保原駅はすごく古くて、うまくリノベーションすれば人を引き付けられる魅力が無いのかなと最近思っています。ただ、町の方が指摘するような橋上駅舎にして、改札を2つ作って人々が便利になるという事は解消されないですけども、あとはJRの方でどの程度本気で、というか、やはり採算、取れる取れないということをJRは考えるとは思いますが、どの程度本気度がJRにあるのかということが少々気になります。</p>
為国会長	<p>はい。事務局の方、JRと交渉している中で、どうですか。</p>
事務局	<p>JRの方とは適宜協議しております。協議内容は技術的な協議です。駅舎の整備となりますと、いろいろ制約事がございますので、そういったことも含めて、JRと協議をしております。フル橋上の場合、あと半橋上と言われるもので一部、地上に下して駅舎を造るとか、そのほかもいろいろと様々なことを協議してございます。先程、今の現在の駅舎を保存しながらという上山さんのご意見もいろいろ耳にします。その辺もうまく、新しい物を造りながら、そういった古いものを、これまでの歴史を感じさせるようなものを取り入れたいという思いもありますので、今後の検討にしたいと思えます。</p>
為国会長	<p>はいありがとうございました。いかがですか。</p>
上野委員	<p>この基本計画をつくる中において、まだこの協議会において地元説明会とかいろいろとあったわけですけど、疑問点がというか町民側からすると、まだ不明確な点が3つあったと。まず1つは、今上山さんが言われたように駅の橋上化というのは、当初そんな明確ではなかった。それが途中からでてきて、特に、11月のまちづくり協議会で事務局へ質問した中で、JRと話した、交渉して打合せしたとでました。そして1月の広報で町長ははっきり橋上化を公言されました。これが一つ明確になりました。まだ2つ残っていると、それが議会でも上がり問題になってます。大型商業施設跡地の問題、これが丁寧な説明がされていない。特に議会などに但し出ますが、まず出るのが「基本計画が出来たら、それからその土地を検討するのではないかと。ところが、人の土地にそんなことしていいのかと、議員さんから質問が出ています。今回の3月議会でも、4人の方が駅北まちづくりについて質問される。この2点。そして高校の誘致ですね。まちづくりニュースの2号には、その商業地の跡地に高等学校移転、誘致候補地と書いてあったのですね。明記されている。それがいつの間にかなくなっている。だからこの2点については、私は町民としてまた不信感というか、疑問に思う。それがこの中において、こういう風を書いていくか、これが残っているのではないかと、だから今度新しい組織ができることで、これが非常に前進となると思えますが、この2点の問題点は町民に丁寧な説明が必要であると思えます。</p>
為国会長	<p>はい。事務局どうですか。</p>
事務局	<p>まず、駅につきましては、先程事務局の説明もありましたけれども、引き続きフル橋上、半橋上も含めて、様々なパターンを、町の財政状況もちろんありますので、実現できるような形でJRと協議を進めていくという所になります。一方、大型商業施設跡地につきましては、</p>

	<p>基本計画 26 ページのところですが、④のにぎわいづくりに向けた機能の誘導という所で、施策の概要の 3 行目、駅北の低未利用地等を活用した教育機関の誘導を推進しますという所で、今回の大型商業施設跡地につきましては、まちなかふれあいゾーンに位置付けられておりますので、これまで通り引き続き教育機関の誘導を町としては推進していくという所になります。委員さんがおっしゃられたように、今後丁寧な説明を事務局としても町としても足りない部分もあったと考えておりますので、どういう風に利用していくかを含めて、来年度以降まちなか再生チーム、ローカルチーム合わせて調整しながら進めていければと考えております。以上です。</p>
<p>為国会長</p>	<p>はい、ありがとうございました。取組みについて、一番最初に協議会を行うということでしたが、ポイントとなる部分が絡むと、手を付ける部分が遅れて難しいかもしれません。しかし、確実に進んできていると思いますので、丁寧に皆さんに説明してご理解を頂いて進めていかないとかえって遅くなりますから、その辺はぜひよろしく願います。</p> <p>はい、他はいかがですか。</p>
<p>上野委員</p>	<p>ニュースの 2 号には、高等学校の移転、誘致と。これをやはり、もし白紙になったなら白紙とか、検討中とかはっきりと明記すべきだと。そうしないと、町民はいつまで経っても信頼が持てない。特に、町民は信頼していないと思います。こちらにも、学校誘致と書いてありますよね。それがつまりなくなると。なくなったらなくなると説明するべきだと思います。</p>
<p>為国会長</p>	<p>どうですか、事務局は。</p>
<p>事務局</p>	<p>当初のニュースから、今の計画に対してトーンダウンしているのではないかという話だと思うんですが、こちらにつきましては、教育機関とも交渉を続けている中で確認した上での表現となっているという事でご理解をいただきたいと思います。</p>
<p>為国会長</p>	<p>基本計画で今書くことができる所の部分でこのように表現しているという事でしょうね。他にいかがですか。</p>
<p>上山委員</p>	<p>教育機関の誘致について、民間の事業者を誘致するのに比べて、教育機関を誘致するのは、ハードルが高いものなののでしょうか。決まればわりとすぐ実現するものなののでしょうか。民間であれば条件を整えばすぐに進出してくると思うんですけど、その辺の違いを教えてください。</p>
<p>事務局</p>	<p>教育機関の誘致と民間の違いですけれども、教育機関が学校を建設するにあたって、その場所でいいのか等、様々なステップがあると思います。教育機関としては、様々な候補地があると思いますので、民間に比べたら時間がかかるかと言われれば、確かにあると思います。</p>
<p>為国会長</p>	<p>ありがとうございます。他はいかがですか。</p> <p>とりあえず基本計画（案）としては、色々今回出た皆さんの意見が実は入っていて、表現するのに難しい所がもちろんありますが、逆に方向がはっきりと出てる、おろしてくれるという事になってますから、次年度以降、しっかりと議論していただいてもらいたいと思います。</p> <p>なお、県庁も、市街地整備課が入ってくるという事は、本格的に考えていただけるという事になっているようですので、そういうことも踏まえて次に進んでいただけるかなと思います。</p> <p>並木さんどうですか。</p>
<p>並木委員</p>	<p>これは最初からの一つの業務だと思うんですけど、今上野さんが仰った 3 つの点は、非常に大事な所、キーとなる一つのプロジェクトというか、要素だと思います。</p> <p>しかしながら、今回の話は、大型商業施設跡地に何が入ってくるか、というのは非常にまちづくりとして大きなインパクトがあって、それに伴って実は、まちづくりとして少しは変わってくるという事は皆さんお互い理解できるのではないかなと思うんですけど。</p> <p>そういう意味でいくと、教育機関についてはもちろん相手のいる話だし、折角上野さんから話があったところですが、どういうスケジュールでやっているかと、開発が進んでいくのか、または土地利用の転換が進んでいくのか、という事はあるわけで、言ってみれば歩きながら考えているものだと思います。</p> <p>一方で、色々な人の意見を聞きながら、色々なイベントをやりながら、この地域のまちづくりの活性化という、皆さんの思っている方向性を一致して進んできている、進みながら見直しも当然考えるという事が前提だという風に私は思っております。</p>

<p>為国会長</p>	<p>一番大事な話は、ここに常に注目が集まるように、又はその皆さんの意見が色々な所に反映されるようにという事を、ここで期待をしている。まちづくり協議会はそれを見守っていく立場だという風に、そういう意味で私自身も考えております。</p> <p>はい、ありがとうございました。さあ、他にいかがでしょう。</p> <p>あとは、関係する所に丁寧に説明して、ちゃんとお互いが理解できて進められるようにしましょう。そういう風をお願いします。という事になろうかと思うのですね。</p> <p>内容を見ていただいてご意見等あるようでしたら、また、後日でもご意見をいただこうと思います。</p> <p>皆さん、基本計画（案）に関してはよろしいですか。</p> <p>それでは、基本計画（案）にはご承認を頂いたという形にさせて頂きたいと思います。</p>
<p>中嶋委員</p>	<p><8. その他></p> <p>私の方から、今年度終わりにになると聞きまして、皆様方に一言お礼の言葉を申し上げたいと思います。私ども、地元の発起人の一人としまして、山下町長に取り上げてもらうために、約60年掛かりました。60年の内に2人の子供さんと、年配の方が亡くなりました。私の店のお客さんです。皆さん、その事を考えて、60年前にこの道路を何とかできないかという話が出たんです。そのような経緯の中で、代々の町長さんが取り上げてくれないので、私とある議員とで、本庄の土木事務所にもお伺いしたことがあるのです。</p> <p>それで、部分的に直すのであれば、私どもはできるけれども、駅から17号までの区間になると、町長のお力をいただかなければならないということでした。</p> <p>それから、何回か町長さんが変わりました。</p> <p>今回、山下町長にこうして取り上げていただいて、この段階に進んでくれたことが、発起人の一人、地元の者として、本当にありがたく思っています。また、取り組んでいただいている町役場の方々にも、大変な努力をしていただいているのことも、地元の者としても重々わかっております。言えないことも含めて、色々していただいていると思います。表に出せないこともいろいろあると思います。しかし、何としても道路を作って、安心・安全に歩ける道路にしてもらいたいというのが私たちの想いです。それから、私どもは年を取っておりますが、これからの人に対して、夢のある道路にしてほしいというのが一つです。</p> <p>ここまで来たことが、本当にありがたく思っています。もうひと踏ん張り頑張ってもらって、実現につなげていただければと思います。</p> <p>また、協議会の方々にもご支援いただいたことに本当に心から感謝している次第でございます。</p>
<p>鈴木委員</p>	<p>一番びっくりしたことが、「ちいさな駅前を旅するマーケット」で、近所のお母さんたちと一緒に、イベント会場を往復しました。皆、近所の人たちが言っているのは、40年、50年前の駅通りになったね。昔はこれくらい人が出たよね、と、非常に喜んでいました。あのイベントが素晴らしかったと思うのは、地域の人が、頑張ればなんとかなるんだね、人が出てくるんだね、ということを中心に持ってくれたということが、この事業を進めていく上での良いインパクトになったなど。本当に事務局が頑張ってくれたということに、心から感謝しています。</p> <p>地権者がいなくなってしまうことに心配している人もいますが、相対的には駅通りの整備は、地域の人が期待しているということをご理解していただいた上で、事務局、協議会の皆様方には、ご理解をいただいた上で、引き続きご協力をいただきたいと思っています。本当にありがとうございました。</p>
<p>事務局</p>	<p>住民説明会、パブリックコメント、まちづくり協議会で、神保原駅北まちづくりを進めてほしいという思いは、もちろん届いてきております。まちづくりを進めるにあたっては、様々なステップがありますが、皆様の協力なしには進められないというところもありますし、そういう意味では、皆様の応援をいただきながら進めているものであると実感しております。</p> <p>今後、その協力を得られ続けるように、しっかり説明をさせていただき、計画を実行できるように、町として全力で取り組んでまいりたいと思いますので、この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>
<p>為国会長</p>	<p>もうひと踏ん張り、鈴木さん仰ってましたが、ここからですね。頑張ってください。</p> <p>それでは、よろしいですかね、ありがとうございました。それでは、本日の会議は終わらせていただいて、事務局の方へお渡ししたいと思います。</p>

事務局	<p>為国会長、ありがとうございます。本日は長時間にわたり、ご審議を賜りまして誠にありがとうございます。ご審議いただきました、神保原駅北まちづくり基本計画については、町議会に報告をさせていただきまして、策定という流れになります。3月中の策定を予定しておりますので、策定となりましたら、委員の皆様には改めてご報告をさせていただきたいと思ひます。</p> <p>また、委員の皆様におかれましては、3月31日をもって、任期満了となります。皆様には協議会の中で、神保原駅北まちづくり基本構想、基本計画のご審議をいただいたこと、心よりお礼申し上げます。以上を持ちまして、本日の会議は終了となります。</p> <p>最後に、並木副会長より、閉会の言葉をお願い致します。</p>
並木副会長	<p><9. 閉会></p> <p>2年間の長い間、協議会で検討を重ねました計画作りも、無事終了しました。先ほどから、発起人の2人の方から、沁みる話がありました。我々も、こういう場に来て、少し役に立ったのかなど。また、これからも動いていきたいなということで、たぶん、木村さんには、沁みたのではないかなと思います。</p> <p>また、町職員の方、本当にちょっとしたことだけ言わせていただくと、来年からの話でございますけれども、一般的に言いますと、こういう作り方、地元と外部の方を入れたり、非常に手間暇かかる組織の作り方ですね。こんなに面倒くさいことをやるのかなという感じを、私は受けます。</p> <p>本来であれば、地権者の方は、自分たちの問題がある中で、そこにいろんな人の意見を導入してアドバイスをいただいて、道路の線を変えるというのは、非常に珍しい話です。まちづくりの機関としてやろう、地権者の方も受け入れてくださるといことは素晴らしいことなので、色々多難はあると思いますが、ぜひ進めていただければと思います。</p> <p>何回も申し上げますけれども、このまちづくり協議会を進めるのは、本当に大きいサポーターという風に思ひます。そのような力がないと、逆に言うと、先ほど上野さんがおっしゃった3つのことが動かない。みんなが注目して、みんながサポートして、やった方がいいよという気持ちが集まると、物事が進んでいくのだと思ひます。</p> <p>そういう意味でも、来年もお世話になるかもしれませんけれども、そういう気持ちで我々も務めてまいりたいと思ひますし、この2年間皆さまにはそういう気力を持っていただき、素晴らしい意見をいただいたと思ひます。感謝を申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。どうもご苦勞様でございました。ありがとうございました。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>